

繪ハガキ競技會記事 (第二十二回)

蝶 (意匠)

若草 (技術)

一等	鐘に蝶	和賀井 恂	戸山の春	山田 全一
二等	蝶の模様	犬飼 莊水	花野	筒井角太郎
三等	蝶の影	古川 熊三	拜島の水車	瀧島 寛水
四等	蝶と人	山田 全一	坂道	相田 寅彦
五等	蝶にたんぼ	相田 寅彦	雪の下草	久保 周一
六等	遊蝶花	中尾 正幹	堤の上	和賀井 恂
七等	菜の花に蝶	巖谷 爽日	田舎の春	赤城 泰舒
八等	蝶番	須崎 俊治	牧場	中村 愛亮
九等	莊子の夢	大橋 三平	田舎道	鵜澤 四丁
十等	蝶のおもちや	飛鳥井 信	野邊	海老名研二
十一等	同	平澤 光	公園の春	井上 清一
十二等	紙の蝶	井上 清一	若菜	飛鳥井 信
十三等	雌蝶雄蝶	小林誠之助	山の春	佐藤 清
十四等	同	丸濱善二郎	樹の下	岡田 恒輔
十五等	蝶の模様	横田 順三	農家の庭	榎本 滋
十六等	蝶の舞	榎本 滋	野邊	津雲 孝
十七等	胡蝶の曲	丹羽光次郎	梅の下草	落 第 生
十八等	胡蝶の宿り	牛木 勇	水邊	平澤 輝吉
十九等	手品師	後藤 百次	河岸	田中 桂月
二十等	蝶の躑	久保 周一	春の野	須崎 俊治

以下略

三月二十五日開會、出品者四十五人、總數百六十二枚、選評の結果上記の如し

意匠の一等は、色調穩和にして快よく圖柄またあしからず。二等は斬新といふ圖案にはあらざりしも、是又色の調和無難なりし。三等は紙障にうつれる蝶の影なるが、障子の隙間に蝶の本體を見せしは作者の意を注ぎし點ならん、されど單に影のみの方面白かるべし。惣じて今回の出品は惡作殆どなく、意匠に奇抜なるもの多かりし。意匠に於てはかく好結果なるに不拘、技術之方は圓熟なる作少なく、二等は少しく華美に過ぎ、三等は添景人物甚しく小に、四等は道路に傾斜の趣見え、且忠實なる寫生と認むべきもの割合に多からざりし。

五月課題

斜 (意匠)
朝 (技術)
五月二十日 切
五月二十七日 開會

▲注意 意匠は圖案畫にして繪ハガキの形式を備えしもの、技術は寫生を主とし余白を殘さず一枚の繪と見做すべきものなり。